

区民会議における区制40周年の取組(類型化)(赤字:追記部分)

今回委員に抽出されたもの	類型 カテゴリ		賛成数 内訳 (重複有り)	取組み内容		課題調査部会の委員が 取組みを選んだ理由	取組みのテーマ	課題調査部会の 委員が選んだ テーマ	課題調査部会の委員が テーマを選んだ理由	資料2による類別(案) ●柱立て(1~3) ●難しい取組(1~IV)
	方策	理由		方策	理由					
A イベント	A-1 シンポジウム 賛成:3	A-1(1) (まちのコミュニティ形成に向けた講演と区民会議についての意見交換の二部制)	賛成:1	市民報告会でシンポジウムを開催 第一部講演会:再開発で大きく変化するまちのコミュニティ形成について 第二部意見交換会:区民会議の取組みが地域と一体感がもてるよう意見交換をする。	若い世代の多い中原区がこれからも魅力あるまちであり続けるために、区民自らが地域の課題発掘と解決に参画しているよう、「人のつながり」「郷土愛」の意識向上を働きかける。	・市民報告会の参加者を増やすための工夫が必要。区民会議からの一方的な情報発信だけでなく、委員と区民一人ひとりが対話をしながら、日頃どんな事に関心があるのかを直接聞くことが重要である。	人がつながるまちをめぐそう	1)人がつながるまちをめぐして	1)防災、防犯など安全安心なまちづくりには、人とひとのきずなを強める関係が大切である。	1
		A-1(2) (昔と今の中原、将来の中原を語る)	賛成:2	記念シンポジウム「40年を振り返って」と「未来のこと」を若者男女の話で聞く。変わりつつある中原の今と昔、そして未来へ。地元の高小・小中学生にパネルディスカッション風に出演してもらい、過去の中原の話やこれからの中原をどうしたいなどの夢を語ってもらう。	-	・区民自ら地域の課題発掘をし、問題解決のために参画する意識の向上につなげる。 ・昔と今の中原、将来の中原を語る。(魅力の有る地域を継承する為)	区制40周年の記念シンポジウム開催しよう	1)人がつながるまちをめぐす 2)区制40周年記念シンポジウム開催	1)住民の入れ替わりが多い上に、再開発による変化の激しいなかで、交流とつながりの活性化を目指す。 2)区制40周年記念行事で多くの地域住民の参加を期待。	1
	A-2 音楽会 賛成:5	A-2(1) (区内の小中高生をとりこむ、交流)	賛成:5	区民会議主催で中原市民館を利用して「区制40周年記念音楽祭」を実施。	年に一度エポックなからで中・高生の吹奏楽コンサートが実施されている。NEC・富士通や、とても上手な学校もあるため40周年記念音楽祭を実施すれば大勢の区民が来てくれると考えられる。	・40周年事業のアピールは音楽会・交流イベントなどの祭典が良い(必要)。 ・区民の皆様が気軽に参加したり、楽しんで頂けるから。 ・音楽の町「川崎」ですから、当然区政40周年記念誌は中原も音楽の町「中原」です。 ・地域住民の参加が期待できる。 ・今回のような記念の催しに「音楽」は最適です。これに、中原区を活動の拠点とする音楽家や団体が出演し、質の高い音楽で40周年をお祝いするというのは、区民のみなさんに喜ばれ、心に残ることと思います。	-	1)なかはら40周年 2)未来に夢と希望を託して 3)区政40周年記念シンポジウム開催 4)区政40周年を音楽で祝おう!	1)40周年を迎え、新旧全員で祝う 2)点が線になり、未来へと繋がる。1人1人がその中の1員を構成している。大切な存在である、というようなことが伝わればと願って。 3)区制40周年記念行事で多くの地域住民の参加を期待。 4)心に残る記念行事にできると考えたためです。	1
		A-2(2) (記念事業として有名なバンド、歌手を呼ぶ)	賛成:4	記念事業として有名なバンド、歌手を呼んで記憶に残るイベントを実施。	-	・40周年事業のアピールは音楽会・交流イベントなどの祭典が良い(必要)。 ・区民の皆様が気軽に参加したり、楽しんで頂けるから。 ・音楽の町「川崎」ですから、当然区政40周年記念誌は中原も音楽の町「中原」です。 ・今回のような記念の催しに「音楽」は最適です。これに、中原区を活動の拠点とする音楽家や団体が出演し、質の高い音楽で40周年をお祝いするというのは、区民のみなさんに喜ばれ、心に残ることと思います。	教育、文化、福祉、生活環境等のバランスがとれたまちにしよう	1)なかはら40周年 2)未来に夢と希望を託して 3)区政40周年を音楽で祝おう!	1)40周年を迎え、新旧全員で祝う 2)点が線になり、未来へと繋がる。1人1人がその中の1員を構成している。大切な存在である、というようなことが伝わればと願って。 3)心に残る記念行事にできると考えたためです。	1
	A-3 交流イベント 賛成:2	A-3(1) (夏祭り等での交流の場の提供)	賛成:2	夏祭り(区役所を活用できないか)で交流の場を提供。	住人の入れ替わりが激しく、再開発で企業を含めまちの色が変化しているため、交流するきっかけづくりを支援する。	・40周年事業のアピールは音楽会・交流イベントなどの祭典が良い(必要)。 ・中原区が誇る様々な魅力や資源を、40周年記念を契機として広くアピールでき、これに交流の要素を加えることで、新しく中原区に住まわれる方を含め、地元・地域に関心を深めていただくと同時に、新たなコミュニティの形成にもつなげる機会となると考えました。	みんなのまち中原	1)なかはら40周年 2)中原の魅力を発信して交流しよう!	1)40周年を迎え、新旧全員で祝う 2)豊富な魅力や資源、そして多くの人が集まる中原区だからこそ、イベントの内容を充実させることができ、成果をあげることもできると考えました。	2
		A-3(2) (他主体が参加するイベント、区民会議のPR)	賛成:2	中原区民館で大西学園や橋高校、NEC、富士通を招待し、にぎやかなイベントを開催し、区民会議の委員も出席して「区民会議をご存知ですか」キャンペーン実施。	区民会議をもっと区民に周知することが重要だと考えているため。	・40周年事業のアピールは音楽会・交流イベントなどの祭典が良い(必要)。 ・中原区が誇る様々な魅力や資源を、40周年記念を契機として広くアピールでき、これに交流の要素を加えることで、新しく中原区に住まわれる方を含め、地元・地域に関心を深めていただくと同時に、新たなコミュニティの形成にもつなげる機会となると考えました。	めざそう活気に満ちあふれた(人にやさしい)ハートフル中原!!	1)なかはら40周年 2)中原の魅力を発信して交流しよう!	1)40周年を迎え、新旧全員で祝う 2)豊富な魅力や資源、そして多くの人が集まる中原区だからこそ、イベントの内容を充実させることができ、成果をあげることもできると考えました。	1
		A-3(3) (絆、安心・安全のテーマを組み込む)	賛成:2	人間関係の絆、安心・安全のまちづくりというテーマを東日本の大震災の教訓を生かしてイベント等に入れるようにする。イベントを実施する場合はあまり使用をせずに手づくりで行なうようにする。	-	・40周年事業のアピールは音楽会・交流イベントなどの祭典が良い(必要)。 ・中原区が誇る様々な魅力や資源を、40周年記念を契機として広くアピールでき、これに交流の要素を加えることで、新しく中原区に住まわれる方を含め、地元・地域に関心を深めていただくと同時に、新たなコミュニティの形成にもつなげる機会となると考えました。	震災に負けない、絆づくり、強いまちにしよう	1)なかはら40周年 2)中原の魅力を発信して交流しよう!	1)40周年を迎え、新旧全員で祝う 2)豊富な魅力や資源、そして多くの人が集まる中原区だからこそ、イベントの内容を充実させることができ、成果をあげることもできると考えました。	3
	A-4 作品展 賛成:4		賛成:4	「なかはらの未来像」作品展として区内小中高生を対象に絵画、作文、標語を募集。	現在まちづくり推進委員が募っているポスターはマナーアップや環境破壊等、地域の大人たちへの警鐘が主体となっているが、未来を担う子どもたちの視点から「ゆめのまち」「魅力あるまち」をみんなで一緒に考える。	・絵画、作文、標語を子ども達だけではなく、区民(各種団体を通じて)に参加してもらえたら願います。 ・地域を知る、子供達の意識意向上。(区民の交流の場を提供)好い作品の表彰を検討。(参加する意欲) ・住み続けたいまち、大好きなまち夢のまち…子どもたちにも魅力ある中原区をまちづくりに参加してもらおうきっかけをつくる。	人がつながるまちをめぐそう	1)未来に夢と希望を託して 2)地域コミュニティ強化(人的交流) 3)地域コミュニティを強化しよう	1)点が線になり、未来へと繋がる。1人1人がその中の1員を構成している。大切な存在である、というようなことが伝わればと願って。 2)防災避難訓練を実施し災害時に備える事が出来る。高齢化、子育て支援など協力に貢献出来る。 3)自治基本条例に基づき区民自ら暮らしやすい地域社会をつくらせていこうという意識の醸成をめざす。	
	A-5 展示、販売会 賛成:2		賛成:2	地域産業についての住民と事業者の相互理解を促すための地域の産品、製品を展示会と販売する会。	地域の産品、製品を展示して販売する住民の理解と認識を深めると、地域産業に対するニーズを把握してもらい、地域で活動している産品、製品の活動促進に協力、支援する。	・地域で活動をしている産品、製品の理解と認識を得る(事業者と住民の相互理解、地域の活性化)展示販売の場に参加者と企業が共に商品、製品を作れるとより以上価値がある。 ・再開発による転入者や若い世代の人たちに中原区の産業をPRして地域活性化を図る。	地域の活性化を支援しよう	1)中原の魅力発信 2)人に優しいハートフルなかはら	1)住み良い地域(安全、安心、繁栄の有る街)で有る事を知らせる。 2)若い世代が地域参画できるような声かけ、働きかけをする。	1
	A-6 避難訓練、防災講座 賛成:1		賛成:1	町会単位での避難訓練を実施。先駆けて防災ガイドブックの配布、「ぼうさい講座」を開催。	実際に避難をしてみることで見えてくる確認事項もあると考えているため。	・実際に訓練をすることで気が付く事があると思っているため。 幅広い世代の意見が組み込まれた防災マップは、近隣(地域)にどんな方がお住まいなのかを知るきっかけにもなるのではないかと思います。	地域コミュニティを強化しよう(防災対策の啓発活動を行う)	1)地域コミュニティの強化	1)東日本大震災を経験し、多くの方が防災対策に興味関心を持たれています。40周年という節目にあたる時に本格的に取り組むのは良い機会だと思っています。 また、必然的にコミュニケーションをはかる事ができると思っています。	1
【新規項目】 ミュージカルの公演 (中原区の歴史や風土にちなんだ演目内容) 賛成:1		賛成:1	中原区の歴史や風土にちなんだミュージカルの演目を公演。区民の参加を区民会議で呼びかけ、発表にいたるまで区民会議委員が実行委員として関わる。	中原区の歴史や風土にちなんだミュージカルの演目を公演。区民の参加を区民会議で呼びかけ、発表にいたるまで区民会議委員が実行委員として関わる。	中原市民館を拠点にPTA活動をさせていただいておりますが、学習の場として幅広い年代の方が様々な活動をされており、しかし、世代間交流の機会が少ないのではないかと感じております。音楽や踊り・ダンスなどの発表が行われ、この活動が定着しています。活動されている団体はどれも素人とは思えないほどの完成度です。それらを融合した「ミュージカル創り」を是非とも実現していただきたいと思っております。区制40周年を機として「中原区の歴史・風土を組み込んだ子ども達や幅広い世代が参加できるミュージカル創り」という取り組みを区民会議で応援していただけるようご提案いたします。	地域コミュニティを強化しよう	1)地域コミュニティの強化	1)東日本大震災を経験し、多くの方が防災対策に興味関心を持たれています。40周年という節目にあたる時に本格的に取り組むのは良い機会だと思っています。 また、必然的にコミュニケーションをはかる事ができると思っています。	3	
B 記念碑、記念像等 賛成:3	B(1) (バンジーのモニュメント)	賛成:2	中原区の花、バンジーを生かしてモニュメントを設置。	-	・40周年イベントのアピールとなり、かつ、以後も思いをつなげる(語るためのツール)に活用できる。 ・大きな節目ということで、何か形として残るものがあったらいいと思います。	震災に負けない、絆づくり、強いまちにしよう	1)なかはら40周年 2)震災に負けない、絆づくり強いまちにしよう	1)40周年を迎え、新旧全員で祝う 2)この時代を共に暮らす区民同士(仲間)として、何かを残したいので。	III	
	B(2) (記念カプセル)	賛成:1	40周年の記念としてカプセルの設置。	-	40周年イベントのアピールとなり、かつ、以後も思いをつなげる(語るためのツール)に活用できる)		1)なかはら40周年	1)40周年を迎え、新旧全員で祝う	III	
	B(3) (記念樹)	賛成:2	記念樹を植える。	かつて中原は柿の生産地だったため。	40周年イベントのアピールとなり、かつ、以後も思いをつなげる(語るためのツール)に活用できる)		1)なかはら40周年	1)40周年を迎え、新旧全員で祝う	3	

区民会議における区制40周年の取組(類型化)(赤字:追記部分)

類型 カテゴリ	カテゴリの 細分化	賛成数 内訳 (重複有 り)	取組み内容 方策	理由	課題調査部会の委員が 取組みを選んだ理由	取組みのテ マ	課題調査部会 の委員が選ん だ テーマ	課題調査部会の委員が テーマを選んだ理由	資料2による類別(案) ●柱立て(1~3) ●難しい取組(1~IV)
	新規 シンボルマーク の活用	賛成:1	シンボルマークを使った旗を 作製し、区内のイベント等に 活用し、主たる掲揚場所と して等々力公園内にポールを 設置する。		せっかく中原のシンボルマークがあるにも かかわらず活かされてない。もっと区 民に周知し浸透させることにより、区への 愛着及びイメージアップをもたらすことが できるものと考え、区制40周年にあたり 区のシンボルマークを模した旗を作製し 中原を広く区民にアピールする。また、区 の行事等をはじめ区内の活動団体のイベ ントの際にも掲揚することにより旗の有効 活用と区への誇りと愛着を深めることが できる。区を中心とする等々力公園にポ ールを設置することにより、より一層の効果が 期待できる。				3
C グッズ 賛成:2	C-(2) (中原音頭)	賛成:2	中原音頭を作成(中原のうた 第2弾)し、盆踊り等で活用。	住人の入れ替わりが激し く、再開発で企業を含め まちの色が変化している ため、交流するきっかけ づくりを支援する。	町内の参加が多いイベントでの活用が でき、中原への求心力を高められる。	みんなのまち中 原	1)みんなのまち 中原	1)街はみんなが誇り、一員であることを 伝えたい。	3
E メッセージ、啓発活動 賛成:1	E-(4) (中原の快適さ の再認識)	賛成:1	現在住んでいる人たちに、 もっとこの中原区が生活し ていくにも、将来も、最も快適な 場所であるということをも再認 識してもらおう。	-	町内会等を通して、区内の隅々まで知っ て頂けるようなPRをして頂けたらと考えて います。	みなさんの住ん でいるなかには の住みやすさを 知ろう	1)未来に夢と希 望を託して	1)点が線になり、未来へと繋がる。1 人1人がその中の3員を構成してい る。大切な存在である、というようなこ とが出来ればと願って。	1
F 調査、研究 賛成:1	F-(3) (再開発の計画 や人口増加の 展望、子育て 支援)	賛成:1	マンション等建設計画の展望 と期間がどれほどのものなの か、今後のくわい人口が増 えるのか、子育て応援体制に ついて考える。	-	情報を提供することで、再開発で新たに 移住した方、区の将来を考える方から 現状を把握できる。この情報に基づいて 将来の区を考えてほしい。この冊子をも とに出前授業も必要であろう。	変わり行くなか はらを知ろう	1)もっと中原を 知るために	1)各区で少子高齢化が進む中で、中 原区は反対の動きとなっている。この 状況で区の課題を考えほしい。また、 区の変化を知ること将来の姿を考え てほしい。	1
	F-(4) (実態把握のま とめ)	賛成:1	中原区の50周年を目指して、 現在の中原区の実態を把握 するための各種統計データを 基礎資料としてまとめる。事 業構築・展開するための実態 把握。資料概要としては、区 民の暮らしに関するデータ(人 口統計、事業所、商業、緑地 公園等)、環境に関するデー タ(再開発、土地利用、住環 境、河川、防災、町内会・自治 会、医療機関、医療施設)。	もっと中原を知るため	情報を提供することで、再開発で新たに 移住した方、区の将来を考える方から 現状を把握できる。この情報に基づいて 将来の区を考えてほしい。この冊子をも とに出前授業も必要であろう。	50周年を目指 してもっと中原を知 ろう	1)もっと中原を 知るために	1)各区で少子高齢化が進む中で、中 原区は反対の動きとなっている。この 状況で区の課題を考えほしい。また、 区の変化を知ること将来の姿を考え てほしい。	1
抽出 されな かった もの	A イベント A-3 交流イベント	A-3-(4) (各地区での区 長との対話)	区長さんが各地区に出向いて 対話を持ち、写真を一緒に 撮って出席者みんなに配布。	-		区長さんと語り写 真を撮ろう			IV
		A-3-(5) (町内会に出向 くミニイベント)	ミニイベントでいろいろな所 (町会など)に出向き、ミニコ ンサート、健康チェック、健康食 の試食(食についてアドバイス)、 子どもとの遊び。	-		笑顔あふれる まちに、安心して いつまでも暮ら せるまちに、元気な まちに、楽しいま ちにしよう			2
C グッズ	C-(1) (絵はがき)	C-(3) (冊子)	中原区版「絵はがき」の作成 区制40周年を記念して区民 会議の委員それぞれが「絵は がき」となる対象物件を提案 し、区民会議委員が選んだ 「中原区版絵はがき」を発行 する。費用については区民 会議委員一人一万円の寄付金 を原資とする。	-		中原区版「絵は がき」をつくろう			I
			冊子の発行。	もっと中原を知るため	50周年を目指 してもっと中原を知 ろう		II		
D 施設等の整備、誘致	D-(1) (飲食店誘致)		若者向けの飲食店等の誘 致。	若者が増加したにもか かわらず飲食店が少ない。		商業施設の充実 を図ろう			I
	D-(2) (子ども専用や 球場整備)		専用子ども野球場の整備。	子ども野球場がない		子どもが野球を できるようなま ちにしよう			I
	D-(3) (自転車専用道 路設置)		自転車の専用道路の設置。	自転車専用道路充実		自転車が快適に 通行できるま ちにしよう			I
	D-(4) (町医者誘致)		町医者の誘致。	町医者が少ない。		医療施設を充実 させよう			I
E メッセージ、啓発活動	E-(1) (お互い様の精 神)		向こう三軒両隣、お互い様の 精神、思いやり、いたわりの 優しいを育む。	経済的、肉体的、精神 的、人間関係いろいろあ ると思いますが、向こう 三軒両隣、お互い様の 精神、思いやり、いたわ りの優しい心が一番大切 な心根であるため。		優しい心の溢れ 出る友情と信頼 のうれしいま ちにしよう			III
	E-(2) (災害時の安否 確認、避難誘 導方法の検討)		災害時に安否確認、救出、避 難誘導を無理なく行なう方 法を考える。	直下型の地震の発生が 危惧され、災害時に安否 確認、救出、避難誘導を 如何に無理なく行なうか を考える必要があるた め。		明るく暮らしやす い安心・安全なま ちづくり			III
	E-(3) (笑顔あふれる まち)		人とすれ違う際、必ず会釈な り挨拶を交わすように、人情 味のある笑顔あふれるま ちに。	現在は見知らぬ人を警 戒することが主流となっ ていますが、もう少し人 情味のある笑顔あふれ るまちなればと願うた め。		区民の笑顔あ ふれる中原をめ ざそう			III
	E-(5) (子育て支援 ネットワーク活 動の周知)		子育て支援ネットワーク会議 の活動をもっとわかりやす く周知する方策を考える。	核家族の多い中原区内 では、子どもの成長と ともに悩みを抱える方が 多くなっていると感じて いるため。		地域コミュニ ティを強化しよ う(子育 て支援活動 を紹介しよう)			III
F 調査、研究	F-(1) (火災報知器の 設置、点検)		火災報知器の設置と点検。平 成24年度に入ってからアン ケートを配布、報知器の可 動等を確認。	設置義務化から約1年経 過するのでよい時期と判 断。		安心・安全のま ちづくりをめざ そう			I
	F-(2) (中原区誕生の 史料)		中原区の誕生についての史 料を提出。(資料は別添)	-		震災に負けな い、絆づくり、強 いまちにしよう			1